所属：高知工業高等専門学校　ソーシャルデザイン工学科

研究タイトル：歴史的環境の維持・保全に関する現状把握と活用に向けた実践的研究



氏名：	北山　めぐみ/ KITAYAMA　Megumi	E-mail：	kitayama@ce.kochi-ct.ac.jp
職名：	准教授	学位：	博士（生活環境学）
所属学会・協会：	日本建築学会、高知県建築士会、ひょうごヘリテージ機構、NPO 法人 H2O 神戸		

キーワード：	歴史的環境保全・歴史的町並み・地域計画・まちづくり
提供可能技術：	歴史的建造物の調査および評価（登録有形文化財申請等）、 歴史的環境の維持・保全にかかる制度策定・運用に関する相談、 歴史的資源を生かしたまちづくりに関する相談・講演など

研究内容：

■ 研究概要

歴史的建造物や周辺環境が一体となって構成された景観の維持・保全について、制度、修理・修景デザイン、住民活動といった側面から研究を行っています。建造物や住民意識について調査・分析を行うことで歴史的資源の価値や課題を抽出するとともに、伝統産業や祭礼などの生活文化、防災を含めた維持・保全に向けた方策の検討を行います。さらに、行政や地域住民と協働し、歴史的資源を生かしたまちづくりを実践的に行うことを目指します。

■ 研究テーマ

（1）世界遺産都市における観光地化が歴史的町並みに与える影響に関する研究（2005-2008）

世界遺産登録に伴い観光客が急増する中国・雲南省の麗江旧市街地を対象に、観光地化が歴史的町並みに与えた影響を分析し、今後の町並み保全に向けた考察を行いました。

（2）自治体の自主制度による歴史的町並み保全に関する研究（2009-2014）

名古屋市町並み保存地区を事例に、目視・実測調査や視感測色、ヒアリング調査などから現状調査を行い、自治体独自の施策による町並み保全の可能性を検討しました。また、歴史的資源を生かしたまちづくりへの協力を行ってきました。

（3）歴史的建造物の再生活用を通した Project Based　Learning の実践（2014-）



歴史的建造物の再生活用とそれを通した地域文化の継承を目指し、改修・活用の実践プロセスを教育研究プログラムとして行う試みです。若手建築家や職人・地域住民とともに「NPO 法人すてきなまち・赤岡プロジェクト」を立ち上げ、地域で学び地域で育てる取り組みです。

（4）文化的景観・伝統的建造物群保存地区・登録文化財等の調査研究（2014-）



人々の生活・生業と風土が一体となって形成された地域固有の歴史的環境を対象として、空間・計画分野の調査研究を行っています。実測等の調査とともに、まちづくりの視点から景観認識の共有等を目的としたワークショップの企画・運営も行っています。

（5）絵金の芝居絵を用いた祭礼空間に関する研究(2019-2024)

幕末の絵師・通称絵金によって描かれた芝居絵屏風を神社の夏祭りで飾る、高知特有の祭礼文化を地域の営みとして継承することを目指し、空間・社会的な視点から調査研究を進めています。

■ これまでの共同研究・講座事例

・愛媛県西予市明浜町狩浜地区における重要文化的景観の選定に向けた景観調査、制度運用（2015-）
・高知県室戸市吉良川町における製炭業に関わる景観調査（2017-）
・愛媛県西予市明浜町高山地区における地域づくりに向けた景観調査（2019-）
・四万十市市史編纂（2025-）まち歩き「まちなか探偵団」の開催（2018-）